

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

東金市長 鹿間 陸郎

市町村名 (市町村コード)	東金市 (12213)
地域名 (地域内農業集落名)	豊成地区 (豊成村)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和5年11月8日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

--

(2) 地域における農業の将来の在り方

- ・田んぼも畑も「魅力のある農業」を目指していくべき。
- ・嫁が来るような魅力的な農業地帯にしていければ良いのではないか。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
<ul style="list-style-type: none"> ・耕作地が分散してしまっている。 ・10年後も農業を続けると手を挙げた人数 参加者24名中6名 ・農地を広げる意向があると手を挙げた人数 参加者24名中3名
(2)農地中間管理機構の活用方針
(3)基盤整備事業への取組方針
<ul style="list-style-type: none"> ・大型の機械が入れない道や水がこない農地もあるため、改善のためにも基盤整備は必要だと考えるが、やはり費用面の問題が課題。 ・費用面の課題を解消するため、市当局には積極的に補助金を活用する等の対応をしてもらいたい。 ・地元負担を減らすために補助金を利用するには畑を作る必要があるが、畑で作る作物が問題。市当局からの助言もとりにいれながら考えていきたい。 ・農道や水路が狭かったり詰まったりしまったりしていることがある。 ・基盤整備事業を実施しない場合、条件の悪い農地は借り手がいなくなってしまうのではないか。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> ・次世代の担い手が少なく、親世代が離農した際の後継者が不足している。 ・田んぼも畑も魅力がないから担い手がいないのではないか。 ・後継者の育成だけでなく、非農家の地域住民の理解を得られるようにしていく必要があるのではないか。(繁忙期の農道の利用や稲わらの処理方法等) ・大規模農家以外では補助制度が少なく、機械が壊れたら辞めるしかない。 ・営農組合の設立も必要ではないか。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

- ①アライグマやハクビシンが増えて困っている。(意見)
- ⑦大規模農家に貸付をしている人が増えているが、農地の管理が十分でないものが散見される。大規模農家もキャパシティを超えているのではないか。(意見)
- ⑦人が近くに住んでいる間は良いが、いない場所が荒れてしまっている。荒れてしまうことでさらに耕作する人が減ってしまうのではないか。(意見)
- ⑨地域計画の区域では大きすぎる。協議の場に集まる人数では話し合いが難しい部分があるため、大字単位での話し合いもしていき、その内容を全体で話し合ってみてはどうか。(意見)